



羽合小学校 学校通信

平成26年4月17日 NO, 8

学校のありかたを決めるのは

今朝は、今年初めての全校朝会が開かれました。こどもたちを出迎えようと思い、8時10分に体育館へ出てみると、既に整列が始まっています。さすが6年生と思ってステージに上がってみると立って整列しているのは5年生で、6年生はすでに整列を完了して座っています。びっくりしました。こどもたちやそれを指導いただく先生方の意識の高さに感心し、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

朝会では私が話をするのですが、今朝はこんな話をしました。

今朝は6年3組の女子が整列の基準となつて列が整いました。上級生が基準となつてみんなの整列の形が出来上がります。整列の形を6年生が決めるのです。わたしたちの羽合小学校のありかたを決めるのは上級生です。整列だけでなく、下足箱の整頓も、そうじの仕方も、あらゆるところで学校のありかたを決めるのは6年生や5年生、上級生です。6年生が**学校の顔**と呼ばれるのは、その学校のありかたを決めるからです。上級生の皆さんはそのことを自覚してください。**心が変わると行動が変わります**。その行動が学校のありかたを決めるのです。

下級生の皆さんは上級生をまねしてください。「まねる」ことは「まなぶ」ことです。まねるにふさわしい上級生です。

朝会が終わった後、児童玄関で下足の整頓の仕方を「まなぶ」下級生のクラスがありました。上級生の下足は大丈夫か、確認に来られる担任の先生もありました。上級生も下級生も、そして先生も、みんなでわたしたちの羽合小学校のありかたを決めていこう！そんな意気込みを感じました。

今日は歯科検診も行われています。保健室は校長室のすぐそばにあるので、検診を待つこどもたちが廊下で整列しています。今日は5年生と6年生です。静かに整然と待っているのも、こどもたちがそこにいることが分かりませんでした。当たり前のことですが、当たり前のことができることも重要です。**当たり前のことは最初の一步です**。

【使い分けできる】

今日の午前中にはお客様がたくさんあって、校舎内をお客様と一緒に歩くこともありました。保健室前に整列していた5年生や廊下ですれ違った2年生、校庭で出会ったみんなが「こんにちは」とあいさつをします。その声が、大きかったり小さくひそひそ声だったりしたことに感心しました。静かに待つときや静かに移動するときは小さく、休憩時間は大きく、こどもたちに、あいさつの大きさを**場面に応じて使い分ける**ことが身に付いたことが分かってうれしかったです。

今朝、児童玄関で男の子と話をしました。「学校が楽しい」と話してくれました。何が楽しいのか尋ねると「幽霊おにごっこ」との答えでした。みんなで遊びを楽しんでいるんですね。 寺谷